

郵便はがき



株 主 通 信

2010年3月期 第1四半期

2009年6月末日の株主様に送付しております

株式会社SRAホールディングス

証券コード●3817 <http://www.sra-hd.co.jp/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連 絡 先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

ハガキがぬれている場合は乾かしてからご覧ください

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

情報サービス業界におきましては、企業収益の悪化を背景に、顧客のIT投資抑制の継続等により、厳しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、SRAグループの第1四半期の連結業績は前年同期と比較すると減収減益となりましたが、当年度の連結業績予想に対しては、概ね想定の範囲内です。

SRAグループが中期経営計画の重点課題に掲げております「海外ビジネスの収益機会の拡大」に対する取り組みの一環（布石）として、2009年8月にSRAホールディングスの連結子会社であるSRA OSS, Inc.は Proxim Wireless Corporationと業務・資本提携を結びました（詳細は本ハガキの内側のSRA NEWSをご覧ください）。これは、2009年2月の(株)SJIとの業務・資本提携に続いて海外ビジネス拡充を目指すもので、新たな企業価値の創造に寄与すると確信しております。皆様のご健康とご発展をお祈りいたしますと共に、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年8月

株式会社SRAホールディングス
代表取締役社長 鹿島 亨



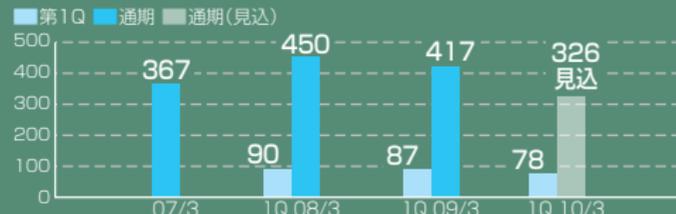
第1四半期 連結業績ポイント解説

※表示単位未満
切り捨てて表示

売上高 **78**億円 年度予想：326億円 (単位：億円)

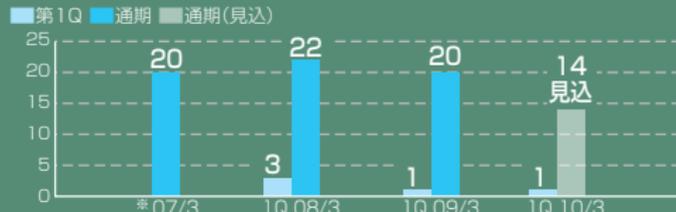
<前年同期比9.9%減>

●開発事業＝証券業、製造業で大幅減少(前年同期比21.5%減)



当期純利益 **1**億円 年度予想：14億円 (単位：億円)

<前年同期比18.2%減>

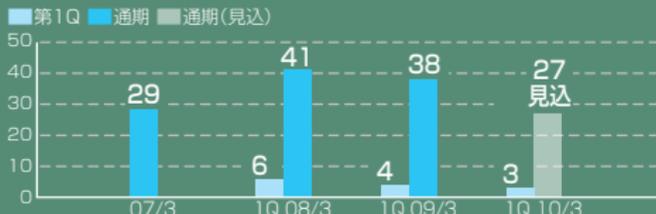


※07/3は技術センター売却益9億円を計上

経常利益 **3**億円 年度予想：27億円 (単位：億円)

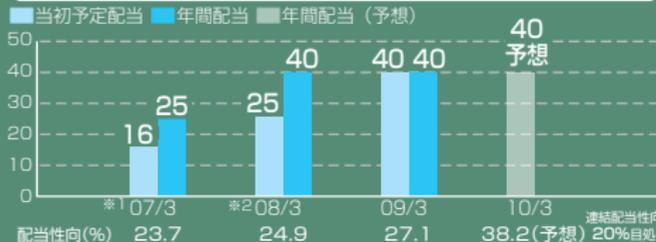
<前年同期比36.7%減>

●証券業、製造業向けの売上高減少に伴う粗利益の減少



1株当たり配当金 (単位：円)

※1 07/3 普通配当20円 記念配当5円 株SRAホールディングス東証1部上場記念
 ※2 08/3 普通配当30円 記念配当10円 SRAグループ創立40周年記念



配当性向(%) 23.7 24.9 27.1 38.2(予想) 20%自給

連結配当性向

Proxim Wireless Corporation (以下「Proxim」)との業務・資本提携について

2009年8月に、SRAホールディングスの連結子会社であるSRA OSS, Inc.は、Proximとの業務・資本提携を発表しました。Proximは、無線データ通信の最前線で常に革新的ソリューションを提供し続ける米国の無線接続機器メーカーで、米国をはじめBRICs各国等に製品を提供しています。

今後は、WiMAXに代表される先進の通信分野においてもSRA OSSを中心に、SRAグループの強みである技術先進性と、グローバルリーチを活かし、ビジネス拡充を目指してまいります。

TOPICS

人工知能学会知識流通ネットワーク 研究会で研究会優秀賞を受賞

SRA先端技術研究所取締役中小路久美代と、SRA葉雲文と、東京大学准教授山本恭裕氏が共同で発表した論文「知識流通における距離と近接性」が2008年度研究会優秀賞を受賞しました。

この研究は、SRA先端技術研究所が、2003年10月から2006年3月の間実施した、文部科学省独創的革新技術開発研究提案公募研究「ダイナミックコミュニティによる知識共創に関する研究」による研究成果を発展させたものです。

詳しくは <http://www.sra-ktl.co.jp/News/20090618.html>

さらに詳細なIR情報は、こちらからご覧ください ▶ 投資家情報ウェブサイト <http://www.sra-hd.co.jp/ir/>

▶▶▶ 詳しくは、ハガキを開いて内側をご覧ください ◀◀◀